

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【公表番号】特表2012-504951(P2012-504951A)

【公表日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-009

【出願番号】特願2011-530529(P2011-530529)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/04 (2006.01)

【F I】

C 12 Q 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月21日(2012.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2つの-グルコシダーゼ用酵素基質の組合せ及びM R S Aが耐性化している抗生物質を含む、M R S Aバクテリアを検出および/または同定するための反応培地であって、前記抗生物質が好ましくはセファロスボリン、例えばセホキシチンである、反応培地。

【請求項2】

M R S Aが耐性化している第2の抗生物質を含むことを特徴とする、請求項1に記載の反応培地。

【請求項3】

2つの基質のうち1つがインドキシリ- -グルコシド基質、好ましくは5-プロモ-4-クロロ-3-インドキシリ-N-メチル- -グルコシドまたは5-プロモ-4-クロロ-3-インドキシリ- -グルコシドであることを特徴とする、請求項1または2に記載の反応培地。

【請求項4】

前記インドキシリ- -グルコシド基質が0.01~2g/l、好ましくは0.02から0.3g/lの濃度で培地に存在することを特徴とする、請求項3に記載の反応培地。

【請求項5】

-グルコシダーゼのための2つの酵素基質の前記組合せが5-プロモ-4-クロロ-3-インドキシリ-N-メチル- -グルコシドと5-プロモ-4-クロロ-3-インドキシリ- -グルコシドを含むことを特徴とする、請求項1から4の何れか一項に記載の反応培地。

【請求項6】

黄色ブドウ球菌バクテリアの増殖を促進するインヒビターの混合物、好ましくはL i C 1、ビブリオ菌増殖阻害化合物O / 129、アズトレオナム及びアンフォテリシンを更に含む、請求項1から5の何れか一項に記載の反応培地。

【請求項7】

M R S Aバクテリアを分離して同定するための請求項1から6の何れか一項に記載の反応培地のインビトロ使用。

【請求項8】

生物学的試料中のM R S Aバクテリアを検出および/または同定する方法であって、
a) 請求項1から6の何れか一項に記載の反応培地に、M R S Aバクテリアを含む可能性がある生物学的試料を接種すること;

- b) インキュベートすること；
- c) M R S A コロニーを同定することを含む方法。